

「宮城県の人間の安全保障指標」において富谷市が総合1位認定

3月23日、NPO法人「人間の安全保障」フォーラム(理事長 高須幸雄日本ユニセフ協会副会長)主催で、「SDGsと宮城 宮城県の人間の安全保障指標発表会」が開催され、富谷市が、宮城県の人間の安全保障指数において第1位に認定されました。

NPO法人「人間の安全保障」フォーラムでは、SDGsの理念である「誰一人取り残されない」社会の実現を目指して、『SDGsと日本：日本の人間の安全保障指標』を2019年11月に出版しています。その第2段階として、全国自治体のなかから宮城県をモデルに、県内の各自治体が取り組むべき課題を浮き彫りにする「宮城県の人間安全保障指標」が、さまざまな角度から数値化され発表されました。富谷市は、命指標、生活指標で第1位となり、総合指標が第1位と認定されました。

【高須幸雄氏プロフィール】

外務省に入省後、国連日本代表部参事官、国連政策課長、インドネシア公使などを歴任。1993年国連事務次長補(財務官)として、国連の予算・財政管理を担当。1997年国連日本代表部大使に着任し、安全保障理事会を担当。2000年国際社会協力部長に就任し、人間の安全保障を推進。在ウィーン代表部大使を経て、国連常駐代表を務め(2007～2010年)、安保理議長に2回就任。国連事務次長(管理局長)として国連の管理全般の責任者(2012～2017年5月)。現在は事務総長特別顧問を務めている。

